

## 令和5年度第1回 那珂市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和5年7月5日(水)午後2時00分から午後4時00分まで

2 場 所 那珂市役所本庁舎4階 庁議室

3 出席者

(1)委員

清水悦子委員、関登委員、勝山元子委員、小笠原聖華委員、永井裕美委員  
笹嶋恵津子委員、飯島ヒカリ委員、大足かおり委員、伊藤佳樹委員  
黒澤千恵委員、平野道代委員、生田目奈若子委員

(2)事務局

こども課 課長 萩野谷真、課長補佐(総括) 水野厚子、課長補佐  
子育て支援グループ長 古谷武、課長補佐 保育グループ長  
寺門賢一、係長 茅根翠、主幹 野上涼、主幹 小泉真由

4 欠席者 増子健一委員、平野由紀子委員、小橋聡子委員

5 会議内容

(1)開会

○水野課長補佐(総括)

皆さまこんにちは。

定刻となりましたので、ただいまから、那珂市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日は委嘱状交付式を執り行うため市長が出席しております。

(2)委嘱状交付

○水野課長補佐(総括)

それでは、会議を始める前に委嘱状の交付を行います。

名前を呼ばれましたらその場でご起立願います。

(名簿順に名前を呼ぶ)

本来であれば、市長から全ての委員の皆様へ委嘱状を交付したいのですが、時間の都合上、代表の方のみとさせていただきます。

代表しまして、清水悦子様、前へお願いします。

(委嘱状交付)

委員の皆様、ご着席ください。

なお、ほかの委員の皆様へ委嘱状につきましては、テーブルに置かせていただいております。

ここで、先崎市長よりごあいさつをいただきます。

(3)市長あいさつ

○市長

(市長あいさつ)

○水野総括

ありがとうございました。先崎市長におかれましては、この後、公務がありますのでここで退席させていただきます。

それでは、令和5年度、第1回目の那珂市子ども・子育て会議を始めたいと思いま

す。

本日、増子健一委員、平野由紀子委員、小橋聡子委員から欠席のご連絡をいただいております。

また、本日出席者が半数でありますので、那珂市子ども・子育て会議条例第6条の規定により、この会議は成立しております。

なお、この会議の会議録につきましては、那珂市ホームページで公表させていただきます。

質疑等につきましては、委員の皆様の前にマイクもごございますので、発言の際にはボタンを押してから発言いただき、発言が終わりましたら、再度ボタンを押していただきますようよろしくお願いいたします。

次に、次第4会長・副会長の選出の前に、今回は令和5年度第1回目の会議となりますので、初めに自己紹介をしていただきたいと思います。

(自己紹介)清水委員、関委員、勝山委員、小笠原委員、永井委員、笹嶋委員、  
飯島委員、大足委員、伊藤委員、黒澤委員、平野委員、生田目委員

ありがとうございました。

次に事務局の紹介をします。

(こども課)萩野谷課長、古谷課長補佐、寺門課長補佐、茅根係長、野上主幹、  
小泉主幹、水野総括

また、オブザーバーとして、学校教育課の猪野課長が出席しております。

(学校教育課)猪野課長

#### (4)会長・副会長選出

○水野課長補佐(総括)

つづきまして、次第4那珂市子ども・子育て会議の会長と副会長の選出をしたいと思います。会長副会長は委員の互選となりますが、事務局でご指名させていただきますようお願いいたします。

○委員

(異議なしの声あり)

○水野課長補佐(総括)

異議なしの言葉をいただきましたので、それでは会長に清水悦子様、副会長に小笠原聖華様をお願いしたいと思います。

清水会長、小笠原副会長、座席の移動をお願いします。

#### (5)会長あいさつ

○水野課長補佐(総括)

それでは、次第5会長挨拶清水会長よりご挨拶をお願いします。

○清水会長

(会長あいさつ)

○水野課長補佐(総括)

ありがとうございました。協議事項に入る前に本日配布しました資料の確認をお願い

いします。

(資料の確認)

(6)協議事項

○水野課長補佐(総括)

それでは次第6、協議事項に入ります。

ここからの議事につきましては、那珂市子ども・子育て会議条例第6条の規定により、清水会長にお願いいたします。

○清水議長

それでは、議長を務めさせていただきます。進行が円滑に進みますようご協力をお願いいたします。

では、協議事項に入ります。

(1)次世代育成支援の取組事業、令和4年度の進捗状況について事務局より説明をお願いいたします。

○小泉主幹

(資料1の説明)

○清水議長

それでは、質疑に入りたいと思います。

非常に多岐にわたる資料になっていきますけれども皆様の分野で、また日頃から気になっていること等ありましたらご質問いただければと思います。いかがでしょうか。

小笠原委員、お願いします。

○小笠原委員

基本的なことを伺いますが、まず3ページの子育てボランティアについてですが、ファミリーサポートとの違いは有料か無料かだけなのか、それとも市が想定している育成した子育てボランティアとは、どんな仕事をしているのか、行っていただくための講座なのかというのを教えていただきたい。

○清水議長

事務局お願いできますでしょうか。ファミリーサポートと、子育てボランティアの違いということです。

○小泉主幹

3ページの2番の子育てボランティアの育成でのボランティアは、「地域子育て支援センターつぼみ」で開催したものとなり、ボランティアの講師としては、つぼみを利用していたかたや、整理収納アドバイザーの資格を持っているかたに講師をお願いしまして、参加者としては、つぼみを利用しているかたに募集し、人数制限はありましたが、令和4年度は6組の参加がありました。今年度は、募集人数を増やすということです。

○清水議長

はい、ありがとうございます。

ボランティアで講師をするというのが、この子育てボランティアのかたちで講師をされるということで、ファミリーサポートのほうは子育ての支援を各家庭に入っのサポート、その違いということですね。

○小笠原委員

ボランティア講師のかたは、どういうところで活躍されるのを想定していますか。何をしてもらいたいのか。

○清水議長

子育てボランティアというのは、そのボランティアとして講師を務める方を募っている。という理解で大丈夫ですか。

○水野課長補佐(総括)

つばみで開催しているのですが、子育てしているお母さん方でも、みんなにそれを還元したいという方がいるので、講座を開いて、同じく子育てをしているお母さん方と一緒に共有しましょうと、そういう意味です。

○清水議長

ありがとうございます。

○小笠原委員

もう1点、5ページ8番の伴走型相談支援のところですが、窓口で母子手帳の交付をしたり、またはしようとしたかたたちの中で、例えば低年齢で、比較的若年で、母子手帳をもらう手続とかよく知らないかたなど、こども課の担当から見て、これは心配だというご家庭はありましたか。

○野上主幹

低年齢といいますか、やはり育成不安と養育不安というように考えられるご家庭というのは当然こども課の窓口や、健康推進課それから妊娠の届出をする前に恐らく病院に行ったりすると思いますが、そういった病院のかたからの情報提供という形でこども課や健康推進課に来ますので、実際にそういった情報が来て内容を確認した後に、やはり養育不安がある、それから今後の生活環境等にも不安があるといった場合には、関係機関と連携して、養育、出産に向けて準備のサポート等ができるような体制は築いております。

○小笠原委員

ありがとうございます。こちら、面談されているということですが、面談は保健師のかたが担当されて、そのあとの不安な人がいた場合、サポートのフローというか流れが明確になってきた新しいシステムだと思いますので、そういったところは、うまく進んで流れているという感じでしょうか。

○野上主幹

この伴走型相談支援が始まる前から、出産育児に関しましては、健康推進課とこども課で連携して行ってまいりました。

実際に今回伴走型相談支援を開始するに当たりまして、また新たに保健師等を雇用し、人数を増やして対応しているところがございます。

そのほかにも子育てコンシェルジュがこども課にありますし、母子保健コーディネーターは健康推進課のほうに在庁しておりますので、以前から、そういった連携の部分に関しては強化出来ていたと考えております。

○清水議長

ありがとうございます。

それでは他の委員の皆様でご自身のご経験をもとに、このあたりがちょっと気になる

ということがありましたら、ご質問あればと思います。いかがでしょうか。

今回初めての会議ということで、概要を知っていただいて、また次の会議等で、ご意見が多分出るかなと思います。

ぜひ、ご参加に当たってご自身の活動の場で、日頃気になっているところが出てきましたら、ご意見いただければと思います。

では、このような形で那珂市のほうでは目標を定めて子育て支援を進めているということですが、感想でも何でも構いませんので、一言ずつ是非いただければと思います。飯島委員からよろしいですか。

○飯島委員

結構、資料を見るだけでもすごい細かくやっていただいているのが分かって、その中でもやはり子どもたちに関わることと、あと子どもたちを支えている親とか、親を含め周りの方々、教育に関する方々もすごくいろいろ考えているのが今回分かって良かったと思います。

市民の意見ですが、もしかしてこれは伝えてもらわないと分からないと思うこともあったので、帰ってまた資料を読み直し、これは向こうから言ってくれるのか、それともこちらから発信しないと、例えば補助金とか、サポートとかは、どうやって受けるのか結構迷うお母さん方とかいると思うので、もう一度詳しく資料拝見させていただこうと思いました。ありがとうございます。

○清水議長

ありがとうございます。ちなみに、子育て家庭への情報提供というのは、那珂市で何か、他の自治体さんであるようなアプリでお知らせとかそういったものは、作ってらっしゃいますか？

○野上主幹

那珂市独自というものはないですが、ママフレというサイトですとか、市の公式SNS、LINE、ツイッター、フェイスブック等で、周知をさせていただいているのですが、特にLINEとかですと、こども課だけではないので、各担当課が毎日いろいろな情報を流していると、どうしてもすぐ埋もれて見落とししてしまうというお話をいただいているので、そういったところを改善する必要、もしくは何か周知する方法を検討しないといけないと考えております。

○清水議長

ありがとうございます。

それでは、大足委員お願いいたします。

○大足委員

はい。

小中学校の視点から、私も今回初めてで、こちらの資料が多いので、まず読むので大変だなというふうに思いましたけれども、ざっと今皆さんお話を聞いたところでやはり小中学校としても、お子さんはもちろん保護者の日常的な支援が必要だということ場面は、多々感じられますので、そういうところをやっぱり継続して支援していくことが大事かなというふうに思いました。

それから、子どもであってもやはり幼い頃から、生き方とかキャリア教育とか、人生設

計をしっかり立てて、見通しを持って、小さい頃から生きていくという、そういう教育もとても大事だなというふうに思いました。

誰もが将来的に子育てに関わっていくのを、小さいうちから教育していくと言うことの大事さを感じました。以上です。

○清水議長

ありがとうございます。

では、伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員

ちょっと質問させていただきたいのですが、子ども・子育て支援ということで学校側との連携というところだと学校長代表はいらっしゃいますが、教育委員会とかそういうところとの連携はありますでしょうか。

○清水議長

事務局いかがでしょうか。

○猪野課長

学校教育課です。

具体的な資料は手持ちとして持っていませんが、今日ご出席いただいている委員の方にもご協力いただいております。教育委員会だけではなくて、保幼小中連携、保育所、幼稚園、小学校、中学校の連携、そちらのほうで具体的な先生同士でそういったことを取り組んでいるところでございます。

そういった一環で、先ほどご質問ありました保育所、幼稚園、それと小学校の連携、そういったことも具体的にできるように取り組んでいるところでございます。

○伊藤委員

ありがとうございます。

資料を見ていると、どちらかという結構小さい子どもの支援が多いのかなという感じがしたので、どちらかというその家庭のほうの支援っていうのがメインというか、中心なのかなというところの理解ですけれども、よろしいですか。

○清水議長

いかがでしょうか。

○野上主幹

はい、そうですね。那珂市としまして妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援ということで掲げて行っておりますので、実際にその妊娠期からある程度未就学児、小学校上がる前ぐらいまでの支援というのが比較的多いような内容にはなっているのですが、だからといって小中学生高校生の世代を支援していないというわけではなく、そういった就学児それ以降のお子さん、それからそういったお子様を育てている保護者の方の支援を行っているところであります。

○伊藤委員

はい、ありがとうございます。

以上です。

○清水議長

ありがとうございます。

そうですね国のほうも少子化対策等でどうしても小さい子どもと家庭に目が行きがちですけれども、恐らく中学・高校あたりも非常に大きな課題を抱えていると思います。不登校等かなり増えていますので、そういったところも是非今後ご意見を、伊藤委員からもいただければと思いますありがとうございます。

それでは、黒澤委員お願いいたします。

○黒澤委員

私も今回この会議が初めて、事前に説明のほうを聞きに来ましたが、気軽な感じで言われて、やはり資料がたくさん届いて、僅かながらちょっと目を通してはきたのですが、やはり知らないようなサポート事業だとかいろいろなことがとてもあって、幼稚園の保護者の方々にもお教えしたいなというところもあるので、今回、皆さんのいろいろな情報を得て、園のほうにお話ししたいと思っております。以上です。

○清水議長

ありがとうございます。

それでは平野委員、お願いいたします。

○平野委員

私の場合はこども課の中の家庭児童相談室という立場から少しお話をさせていただければ。本当に小さな相談室ですけれども、ここにお集まりいただきましたいろいろな方と連携をしまして、妊娠期からということを考えれば、医療関係者それから保健師、それから保育所の先生、幼稚園の先生、学校教育、いろいろなところの方々と連携をとらせていただきまして、各家庭の問題、それから子育ての悩み、あとお子さんとしては、不登校、それからジェンダー問題、いろいろな人たちが関わってきております。

そういう中でこの会議で皆様方の声を聞かせていただきながら、また一つ、取り組みが出来てきていると考えているところでございます。

特に地域としましては、地域に根付いている民生委員さんから力をお借りいたしているところも大きいところになってきています。

そういうところでも、今後とも家庭児童相談室、いろいろな方面と連携をとりながら進めていきたいと考えているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○清水議長

はい、ありがとうございます。

では、笹島委員、お願いします。

○笹島委員

私も今回初めてこの会議に参加していますが、私はほとんど子どもと関係のない生活をしておりまして、商工会という代表でここに参加させていただいておりますけれど、子育ても終了しまして、どちらかという孫を見る世代なので、孫が5人いますが、今皆さんの話を聞いて、あと娘と息子がいますが、話も聞いて、本当に今は子育てというのは切実だなと本当に思います。

うちも子供3人欲しいけど、2人しか産めない、那珂市ではなく水戸ですが、娘にそう言われたときは、やはりちょっと悲しいなと本当に、何というか、自分の身に迫った問題だと切実に思いました。

那珂市もそういう方が一人でもいないように、何かこういう会議を通して、皆さんが伸び伸び子育てをできればいいなと本当に思っております。

これから自分も勉強して、何か役に立てることがあれば、自分から率先して行動を起こしていきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○清水議長

どうもありがとうございます。

それでは永井委員お願いいたします。

○永井委員

私の場合は、保育園ですので毎日0歳から5歳の子たちと触れ合っています。近々、双子の子どもを出産する保育士がいるのですが、どんなふう子どもを見ていくのということを言いましたら、近くに親がいない、旦那さんはもちろん仕事に出るので1人で2人を見ていくと、3つ上くらいに男の子がいるので今日も保育園に行っている状態で、今日もちょっと嘔吐してしまい迎えに行くので帰らせてくださいということで帰ったり、そういう状況で、24時間双子の子どもミルクを飲ませたり、おっぱいあげながら見ていくのが大変で、早く保育園に預けるのは今3か月、もしくは育休とるから1年以上休むと思いますけれども、その3か月預けるまでとかもしくは半年間というその子どもが長く寝る時間が保てるまでのことを考えると、本当に精神的にやられないかなと思いつつ、その辺の子育て支援というのが、サークルを組んでどうこうってところのもっと奥に入っていくと、その親を助けられないのではないかと、その職に対して切実に思ったりしました。

休みだったら行ってあげるから、声かけてと言いましたけど、多分頑張ってしまうと思います。保育園に入ってきて、預ければ親はその時間が仕事に向くなり、自分の時間がつくれたりするのですが、それまでの期間が本当に今までずっと保育園に勤めてきましたけど、その期間がちょっと大変で頑張ってきたねというような、それでは変わらないので、そこのところ今、親も自分が苦勞して大きくなった親じゃないので、その育児というのが昔よりはすごく、つらさが違うのではないかとこの間を感じながら、親のを見ていたりしています。

○清水議長

ありがとうございます。

那珂市のほうでは恐らくこの支援や援助が欲しいという人達もその子育て支援と言うのはかなり充実しているのではないかなと伺っておりますけれども、プッシュ型という支援が欲しいと手が挙がってこないけれども、この方たちはちょっと大変だろうなど、こちらから予測できるような方たちへのアプローチというか、そういった道筋というのは何か作ってあるのでしょうか。

○野上主幹

はい、あくまでも例としてといいますか挙げさせていただくと、家庭児童相談室で相談とかがあります。

本人から相談まではなくても関係機関から情報提供があったりして、把握することが出来ます。



そういったときに訪問をするなり、あとはそういった支援を行っている機関と連携して、情報提供するということは行っております。

○清水議長

ありがとうございます。

恐らく、頑張るタイプの方は手を挙げないで、声を上げないで、自分の中で何とかしようという方が多いのかなと思うと、ちょっと心配だなと思います。

ありがとうございます。

それでは勝山委員、お願いします。

○勝山委員

私は主任児童委員という仕事ですから、妊産婦とかそういうところからも入っていますが、今は小中学生の不登校とか虐待とか、そういう例の集まりに出ることが多く、直接近所に住んでいる民生委員とか学校の先生とかが、その家庭に関わるのが難しいようなときに、平野さんの家庭児童相談員にお願いして、余りにも近過ぎて入れないようなときには、第三者的にその家庭に関わっていただいて、援助し、その後のサポートで近所でできることはないかというようなことで、連携をやらせていただいて助かっているところが多いです。

1か月ぐらい前ですけども、児童相談所で面前虐待でしたか、夫婦げんかを子どもの前でしたときに、ストレスを感じさせる、そういう通報はすごく多いけれども、半分ぐらいは軽度なので、児童相談所で全部預かるのは大変で、自治体に移したようなことが新聞にあったかと思います。

そうするとまた平野さんたちの業務が増えてしまい、大変かなと思いますけれども、本当に学校も、そういうふうに関わってもらう人がいるのといないのとでは、随分と違うので、これからもよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○清水議長

ありがとうございます。こういったお話というのは市民が耳にする機会というのはなかなかないかと思うので、会議の中でも是非教えていただければと思います。ありがとうございます。

関委員、お願いいたします。

○関委員

私から1点だけお聞きしたいと思います。

この資料を事前に配付され、こういうふうに書いてあるのかどうか、見落としているかもしれませんが、先日6月30日付けの茨城新聞に、こども家庭センター設置増と大きく載りまして、今までこういうのは目を通さなかったのですが、子ども・子育て会議があるということで切り取ってきました。

現在既に土浦、ひたちなか市、常陸大宮、つくばみらいの4市が既に設置されています。そのほか、水戸、日立、石岡など22市町村が来年の春までに設置されます。

県内44市町村ありますがそのうちの26市町村が、来春までに設置するということですが、私の勉強不足で本当に申し訳ないですが、もし現在那珂市のこども家庭センターの設置などが分からないので、もしお聞かせいただければ幸いです。

○清水議長

はい、事務局お願いいたします。

○萩野谷課長

はい、那珂市のこども家庭センターの設置予定ですが、現在、内部で調整をしまして、設置に向けた検討をちょうど行っているところでございます。

設置の年月日については、来年、令和6年4月1日に設置するという方向で現在進めているところです。

以上でございます。

○関委員

あと1点よろしいでしょうか。

資料の最後のページになりますが、23 ページのところですか。

3番のこどもを守る110番の家の普及推進ということで書いてあるかと思えます。現在、設置されているのが429か所と書いてあります。

110番の家にはステッカーが貼ってあるといいますか、実際小学生が、もちろん中学生もいますけれど、小学生の方が、特に4月に入った新入学児童あたりは、意味を理解されているのかどうかそれが一抹の不安があります。

あとは、そのステッカーが貼ってあるけれど、本当にその家がいつ委嘱を受けていたのか、現在その家は誰も住んでないのではとか、お年寄りがひとり暮らしでとても対応できるような家ではないのではないかということもあると思えます。

この現在のこどもを守る110番の家をどのように調査した数か知りませんが、その辺の現在の本当の運用状況といいますか、運営されているかどうかを一抹の不安を持っています。私も、いろいろ関係団体に集まる機会があるごとにそういう、昔の仕事からPR行っていますが、本当に学校の子どもたちがそういう110番の家は、どんなものかというのを認識されるかどうか、教えていただければ幸いです。

○清水議長

非常に重要なご指摘かと思えます。ステッカーも古びているステッカーを見かけたりします。

いかがでしょうか。事務局でご回答お願いします。

○猪野課長

申し訳ありません手持ちで持ち合わせてございませんので、確認させていただき、以前こちらの制度のご趣旨に沿ってご協力いただいた方でも、その後の状況、そのまま引き続きお願いしているにしても、そのご家庭の状況と関わってくることも実際あると思えます。

そういった事の対応についてこれから検討していく必要があると思えますので、宿題とさせていただきますと思います。

○清水議長

はい、ありがとうございます。

小笠原委員、いかがでしょうか。

○小笠原委員

大丈夫です。

○清水議長

先ほどご質問いただきましたので、ありがとうございます。

最後に、生田目委員、お願いいたします。

○生田目委員

はい。

皆様からいろいろな貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

今現在子ども・子育て支援事業につきましては、ここにお集まりの関係機関の皆様の  
ご理解ご協力のもと推進出来ていると感じております。本当にありがとうございます。

那珂市としまして、この間の議会のほうでも、ほかに那珂市独自のオリジナルの支援  
というのがありますかというふうに質問されたところですが、今那珂市としては、国の制  
度を拡大しながらやっているところでございまして、ここにこども課とか、健康推進課と  
か、決められていることもきちんとやっている、推進しているというところでお答えはさ  
せていただいているのですが、新聞等でも、他の市町村では独自にこういうことをやっ  
ているよというのが載っているところでした、那珂市として本当はどういったことが、今  
やっている以上に取り組んだほうがいいのかあるのかとかは、やはり皆様の意向を聞き  
ながら、検討していくのが1番いいのかなと思っておりますので、この会議の場でも、  
どうか皆さまが、こういうのがあったらいいかなと思っていることはぜひ言っていただい  
て、それを参考にしながら、もう少し考えていきたいなと思っておりますので、今後とも  
どうぞよろしくお願いいたします。

○清水議長

ありがとうございます。

各委員にお話しいただきましたけれども、それを受けてまた新たに質問等出てきた方  
はいらっしゃいますでしょうか。

また、これからも市民の意見を市に届けるという機会が設けられるかと思いますので  
ぜひ、活発にご意見いただければと思います。

以上をもちまして、協議事項については終わりましたので、事務局のほうにお戻しい  
たします。

ご協力ありがとうございました。

(7)その他

○水野課長補佐(総括)

清水会長ありがとうございました。

それでは次第7その他でございます。

事務局より報告があります。

○古谷課長補佐

(参考資料1から参考資料2の報告)

○野上主幹

(参考資料3から参考資料4の報告)

○寺門課長補佐

(参考資料5から参考資料8の報告)

○野上主幹

(参考資料9の報告)

○水野課長補佐(総括)

1番から9番までの中で、何かご質問等、ございますか。

あまりにも長かったので、1番に説明したところ、もう忘れてしまったというところもあるのですが、何か疑問点がございましたらいつでもこども課のほうにお問合せいただいで結構ですので、やはり委員さんのご意見とかご質問とかがあって、こども課のほうもそれが反映できるということになりますので、気兼ねなく問合せいただければと思います。

最後にもう1点、事務局のほうから説明があります。

○野上主幹

(事務連絡)

○水野課長補佐(総括)

はい、そのほか何かご質問ありますでしょうか。

ないようですのでその他のほうを終わりにしたいと思います。

以上をもちまして、本日の議事は全て終了いたしました。

長時間にわたる協議大変お疲れさまでした。

委員の皆様方におかれましては、今後ともご協力ご指導のほどよろしく願いいたします。

なお次回は日程が決まり次第ご連絡させていただきます。

それでは閉会といたします。皆様お気をつけてお帰りください。お疲れさまでした。